

- 県営郷沢地区ほ場整備事業完成……………2~3
- 青年の船随想録①……………4
- 第2回津軽半島駅伝競走大会から……………5
- 川柳北緯41°/各課から……………6
- 談話室/行事予定……………7
- けっばる蓬田人/戸籍の窓口……………8



軽くても思いをこめて脱穀し！

秋刀魚けぶらせをり
シヨパン聞いてをり

昌治

まだ緑の少し残った落ち葉が、アスファルト舗装の上で雨にぬれていた。あの葉がすっかり茶色になって、霜に凍えるのもそう遠くない。

いつもの年だと、吸い込まれそうな青空の下で、読書の秋だとか、食欲の秋だなんて言っている頃だ。

でも、今年は凶作の上に加え、強い台風が襲い、更に追い討ちをかけるように長雨も続き、心の中にいつの間にか雲が漂ってきたようだ。

ある人が「苦しい時ほど、心にゆとりを」と、教えてくれた。そうしないと、自分を見失ってますます落ち込むという。耐え続けるばかりが能じゃない。苦しさをバネにして、より優れた工夫をこらすのも人間だ。

北緯四一度は、カルチャーライン。さ、分別だ！

11月
1991

県営郷沢地区ほ場整備事業完成を記念して

記念碑の除幕式・竣工式・祝賀会



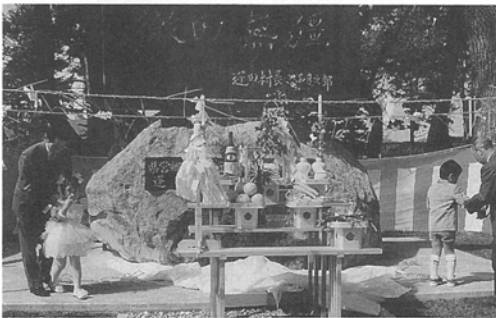
九月二十日（金）県営郷沢地区ほ場整備事業竣工記念碑の除幕式が、郷沢稲荷神社境内において、竣工式・祝賀会が村農業者トレーニングセンターにおいて、来賓、村土地改良区郷沢地区組員と工事関係者百七十名が出席して挙行されました。

八年の歳月をかけて百・四ヘクタールの田園が蘇る！

午前十時から郷沢稲荷神社前で行われた除幕式では、広田神社（青森市）の神主による神事の後、中川将太（五歳）君と、大宮亜由美（四歳）さん二人による記念碑の除幕が行われました。

この記念碑には、八戸良次郎村長自筆の「徹田無疆」「農本の精神に徹して努力すれば必ずや現状を克服し明るい農業の未来が拓ける」という意味の字が刻まれております。この後、関係者による玉串奉奠と続き、除幕式を閉じました。

午前十一時から村農業者ト



レーニングセンターに会場を移して行われた竣工式では、佐藤隆太郎農林部次長（知事代理）より「本事業に着手して以来八年の歳月と、七億八千万円余りの事業費を投じ、本日の完成に至ったものであります。事業に着手した昭和五十九年から事業完了に至るまでの間には米の過剰基調に伴う生産調整の強化や、昭和六十三年の県下全域に及んだ冷害に見舞われる等、幾多の困難に直面したのであります。しかしこの事業促進に心血を注ぎこれを完成に導いてきた故坂本豊道前理事長をはじめとする関係各位の団結とご尽力により、これらの障害を克服して事業を円滑に推進してまいることができましたことに対し、心から感謝を申し上げます」と式辞がありました。

次に、明内文男東青土地改良事務所長より「本地区の工事の概要は、区画整理水田九十七畝、畑二畝、計一〇〇畝、暗渠排水一〇〇畝、幹線道路及び支線道路十・四km、用排水路二十二・一kmであります。面工事は昭和六十二年まで完全に完了し昭和六十三年からは、ほ場条件の改善、耕地の汎用化を図るため暗渠排水・客土等を主体に実施し

体連合会長より、前村土地改良区理事長の故坂本豊道（代理、坂本豊）さんと郷沢地区選出役員に対して県土地改良事業団体連合会長表彰が行われました。

また、坂本祐一村土地改良区理事長より、県営郷沢地区ほ場整備事業完成に評価委員、換地委員として尽力があった



て来ました。これらの工事は五十七名の関係農家の皆様方のご協力、東北農政局始め各関係機関のご指導、ご助言、直接工事の実施に当たられた施工業者のご尽力により本日竣工式の運びとなりました」と工事報告がありました。

原田一實県土地改良事業団

大宮正一さんを初め十六名の方々や、工事関係者九社に感謝状が贈呈されました。

続いて、来賓として出席し



た、東北農政局建設部長（代理、竹原整備課長、津島雄二衆議院議員）代理、川守田青森事務所長、県議会議長（代理、神山県議會議員）、原田県土地改良事業団体連合会長より祝辞があり、八戸村長より「国・県の指導と共に県土地改良連合会の親身の指導努力により、農道整備、灌漑水の不足解消、暗渠排水等目を見張る成果を上げる事ができた。更めて関係各位に深甚の敬意を表すものである。願わくば水田農業に明るい展望がきつと来ることを期待すると共に、わが村のより以上の豊かな農村建設がなされることを切望するものである」と、続いて清水村議会議

長

の祝辞があり、祝電が披露されて式典を終えました。引き続き同会場にて祝賀会が行われ、参加者全員で事業完成を祝い、祝賀会を閉じました。

県営郷沢地区ほ場整備事業の経緯

郷沢地区は、地区の主水源を蓬田川に求め、郷沢頭首工より取水し、途中郷沢ため池に貯溜して地区に引水している。しかし、地区の水田は不整形、小区画で用排水路も錯綜し、また農道は幅員が狭く屈曲も多いため、営農上大きな障害となっていた。加えて、ひとたび大雨に見舞われれば地区内の水路が氾濫し、通行不能となる状況にあった。

このようなことから、本地区の関係農家は、大型機械化営農体系を導入し、農業経営の近代化と地域の発展のため、生産基盤整備の必要性を痛感し、昭和五十七年度から既に実施している県営郷沢地区排水対策特別事業と併行して県営ほ場整備事業が必要であると認識し、関係農家と村当局が一体となって強く働きかけたところ、昭和五十九年度に採択され、工事に着手した。

しかし、この時期は米の生産調整や米価の引き下げ、農産物の輸入自由化など極めて厳しい農業情勢を迎えていたが、父祖伝来の農業を守り、農業に対する情熱は強く、幾多の困難をも関係者の団結をもって乗り越えた結果、地区内の農業基盤が立派に整備され、関係農家悲願の一大事業がここに完成をみた。

本事業の完成により、種々の悪条件が除去され、農業生産の躍進はもとより、地域の開発振興に大きく寄与するものとその期待は大きい。

事業概要

●総事業費	7億7千8百96万8千円
●総面積	114ヘクタール
●区画整理	100.4ヘクタール
●整地工	100.4ヘクタール
●道路工	10.469メートル
●水路工	22.102メートル
●暗渠排水	100.4ヘクタール
●客土工	20ヘクタール

色々な人に会い、学び、観て、感じたことを

これから的人生に役立てたい！

青年の船随想録① 中川 悟

泣き、笑い、寝食をともにした二週間の「若者たちの旅路」が終わった。大海原を突き進む大型客船「新さくら丸」の中で、若者たちは確かな友情と連帯の心を培った。そして異国の青年と触れ合い、実情を見聞することで日本、青森県を見つめ直す機会にもなった。

今回から二回に分けて青年の船に乗った方の報告を連載します。



で旅を進めて来ました。各地では色々な旧所・名跡・ショッピング街・学校・工場などを見学し、中国の青年たち、韓国の青年たちと交流して来ました。

第四回「青森県青年の船」は九月八日（土）に青森を出港し、中華人民共和国・大韓民国を訪問して青森に帰港するというコースで十四日間の航海を終えました。

私たち青年の船一同（一般団員三百五十一名と特別団員四十四名）は、青森↓大連↓北京↓天津↓慶州↓釜山の順

また、それらの寄港地活動の間の船内では、各種のパーティー・講義・ブロック別デスカッション・ゼミナー・係別活動など充実した活動が行われました。

九月八日青森港を出港した私たちは、日本海上で水平線に沈む太陽を見ながら旅の一日目を終えました。九月九日、十日も船内研修で終え、いよ



いよ九月十一日、初めての異国、憧れの中国へ上陸しました。

中国では大連に二日、北京に一日と天津に一日と四日間の滞在でした。中国での初めての寄港地大連での第一印象は空気が石炭臭いということでした。それは大連港から積み出されている石炭や工場の煙突から出ている煙の為だ

ったのではないかと思われま

中国での生活の中で一番困ったことは食事でした。中国といえは中華料理ですが、日本の日本人向けに味付けされた中華料理とは微妙に味が違い、ほとんどの人が充分な食事が取れませんでした。

私たちは大連では大連外国語学院の学生と、天津では北京・天津の日本語を学んでいる人たち（学生から一般まで）と交流しました。彼らと交流しての印象は、活動的で向上心旺盛ということ。そしてすごく日本に興味を持っていてということ。話をしてみると中国と日本という国の違いを越え、アジアの仲間という感じになり、どこの国の若者も同じだと改めて思いました。

九月十五日、中国の食事から解放された安堵感と中国に對しての名残り惜しい気持ちを持って中国を後にしました。

最後に私たちにこんなすばらしい体験の機会を与えて下さった方々に感謝いたします。次回は、韓国訪問から青森帰港までを高田巧（郷沢）さんが報告します。



健闘、昨年よりアップの4位！

第2回津軽半島駅伝競走大会

54・6キロを元気にタスキで繋ぐ！



駅伝を通して郡民の一体感を盛り上げ、地域の活性化とスポーツの振興を図るとともに、あわせて交通安全に対する意識の高揚啓発につとめることを目的に、東津軽郡体育協会（小嶋要市会長）主催の第2回津軽半島駅伝競走大会が、東郡の六町村が参加して、

三厩から蓬田までの十二区間（五四・六km）で行われました。午前十時から、三厩村体育館前で行われた開会式では、小嶋会長より「昨年から行われたこの大会が、東郡各町村の関係者の皆様方のご理解とご協力により、今年も無事実

施出来ることに心より感謝します。今年は、昨年優勝の平内チームを目標に頑張つてほしい」と挨拶がありました。この後、神山久志県議会議員、八戸良次郎蓬田村長の祝辞をいただき、審判長の注意と続きました。選手を代表して、沢田光人君（三厩村）が元氣よく選手宣誓をしました。競技は三厩村、（一区）六条間地区会館前を午前十一時にスタートし、（二区）三厩村民体育館、（三区）今別高校校入口、（四区）大泊小学校西入口、（五区）奥平部道添バス停、（六区）宇田間法寺（七区）台場松林、（八区）平館村役場前、（九区）平館村漁協本所、（十区）中沢公民館前、（十一区）蓬田村役場、（十二区）上磯農協本店から最後は、蟹田町陸上競技場へと各町村の選手は元氣にタスキリレーし、一人のケガ人もなく元氣にゴールしました。

結果は昨年より一位繰り上つての四位で、選手は沿道に詰めかけた観衆から「蓬田ケツバレ」と声援を受けながら力走しました。順位は次の通りです。

一位（平内町）二位（蟹田町）三位（今別町）四位（蓬田村）五位（三厩村）六位（平館村）の順でした。

わが村の選手団は次の通り。

▼監督 八幡敏雄（高根）
▼コーチ 工藤義正（宮本）
▼マネージャー 加藤継悦（郷沢）
▼第一区 伊豫部美希子（瀬辺地）
▼第二区 工藤治郎（中沢）
▼第三区 福士晃（郷沢）
▼第四区 稲葉宏（高根）
▼第五区 工藤仁志（中沢）
▼第六区 野藤健純（阿弥陀川）
▼第七区 福浦純子（広瀬）
▼第八区 伊豫部光（瀬辺地）
▼第九区 長谷川圭介（瀬辺地）
▼第十区 佐藤由香（長科）
▼第十一区 佐井亮（宮本）
▼第十二区 佐井皇（宮本）
▼補欠 松本卓也（長科）
山館淳（瀬辺地）
工藤明（郷沢）
鳴中智子（阿弥陀川）
森由香子（阿弥陀川）

時間の関係で、平館村役場前を十二時三十分、中沢公民館前を十三時十分に一斉スタートしました。



首のあか
落ちて今かと
上り待ち
病む稲穂
首を伸ばして
稲を見る
凶作の
首を下げずに
しおれ立つ
ミニの国
圧政とかれて
首もたげ

池田
いもち病
農家の首を
高政
孫の駄々
祖父手あましの
ちる子
あこがれは
長い首筋
年栄
ひざまくら
はずれて痛む

しめつける
勇三
勝美
お富
筋子
今朝の首
八頭身

早いもので、このコー
ナーも今回で20回の連載
となりました。
村民の皆様のご応募を
お待ちしております。

精神薄弱者に対する 旅客運賃の割引について

平成3年12月1日より精神薄弱者に対して旅客運賃及び航空運賃の割引制度が適用されることになりました。

これに伴いまして、愛護手帳の書替えを行うことになりましたのでお知らせします。

1. 対象者 ・愛護手帳の交付を受けている人。
2. 手続き ・書替え希望者は、愛護手帳及び印鑑持参のうえ、役場民生課又は、東地方福祉事務所にて申請して下さい。
3. 書替え ・平成3年10月21日(月)～
4. その他 詳細については、役場民生課又は、東地方福祉事務所までお尋ね下さい。

役場民生課 ☎27-2111
東地方福祉事務所 ☎0177-22-4898

青森県税事務所では、平成四年度分の農業用免税軽油の免税証等交付申請を受付します。

受付期間は、平成三年十一月十九日から二十二日、午前九時から午後四時までで、青森市長島二丁目十九番一号、東京海上ビル五階青森県税事務所まで受付します。

尚、交付申請手続きが受付期間より遅れますと、免税証の交付も遅れることとなりますので、受付期間は必ず守つ

が、「加入しない」、「加入しても保険料を納めていなかった」などのため、年金を受けられない人もいます。

県と市町村では、県民のみならず、年金制度を正しく理解していただくため、十一月を国民年金制度推進月間と定めて、いろいろな催しや広報を行うことにしています。

この機会に、あなた自身の年金をもう一度、確認してください。

①新規：新たに申請する人及び使用機械に変更のあった人。
②継続：免税軽油使用者証の有効期限が平成四年十二月三十一日以降の人。
③更新：免税軽油使用者証の有効期限が切れる人。

※それぞれ提出書類が違いますので注意して下さい。

不明な点につきましては、県税事務所関税課(電話〇一七七一―二一―二一内線五四〇六)または、蓬田農協にお問い合わせ下さい。

11月は 国民年金制度 推進月間 です!!

民生課

国民年金は、国が責任を持って運営している公的年金制度です。

老齢、障害、死亡についてすべての国民に共通の「基礎年金」を支給することを目的としています。

そして、これら基礎年金の支給に要する費用は、国民みんなが公平に負担する仕組みになっています。

年金制度が「世代と世代の助け合い」、「国民どうしの

助け合い」であることを自覚し、積極的にかわっていかなければ、制度の基盤が崩れてしまいます。

県内では、厚生年金、共済組合の加入者を除いて、42万人が加入し、万一の事故や老後の生活に備えています。

受給権者数も21万人を超え総年金額は八百十六億円に達しています。

このように、すっかり生活の中に定着した国民年金です

農業用免税軽油の交付申請を受付します

が、「加入しない」、「加入しても保険料を納めていなかった」などのため、年金を受けられない人もいます。

県と市町村では、県民のみならず、年金制度を正しく理解していただくため、十一月を国民年金制度推進月間と定めて、いろいろな催しや広報を行うことにしています。

この機会に、あなた自身の年金をもう一度、確認してください。

**11月の土曜閉庁日は
9日です。**

ただし中央公民館、幼稚園、保育所、児童館はこれまで通りです。

**年賀ハガキ好評発売中
陸奥蓬田郵便局**

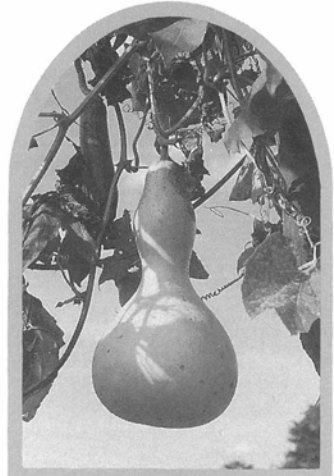
今年も年賀状の時期になりました。年賀ハガキは、11月1日(金)より発売中ですので、お早めにお買い求め下さい。

ご希望の方には配達致しますので、ご利用をお待ちしております。

①寄付金なしのハガキ (41円)
②寄付金付きハガキ (46円)
(寄付金付きは、猿の親子、富貴、松竹梅の3種類あります)



No.45 **がんばる**
青年団体連絡協議会 蓬田村



談話室

青年大会を成功させよう!

今回は、少人数ながら村の活性化を目指し、長い伝統と歴史の青年会を守り続け活動

している村青年団体連絡協議会(会長福井幸正)の会員の皆さんに取材しました。青年会は来年、蓬田村を主催するに、上磯五町村で開催さ

れる予定の第四十一回県青年大会という大きなイベントを迎えることになりました。昭和五十八年(八年前)に、第三十二回青年大会が上磯五町村で開催され、村民の皆様のご協力により無事、大会を終えたことを記憶にあると思います。

福井会長より「これから、来年の大会開催のために、運営スタッフの方との打合わせや会場の準備を進めていくのですが、特に、役員・選手団を含めて約六十名の方の食事や、宿泊の場を確保しなければならぬので、民泊という事で決まりましたら、村民の皆様のご協力をお願いします」と協力要請がありました。

毎週、水曜日の夜には村農業者トレーニングセンターにて、スポーツを通じて会員同志の親睦を深めながら、来る大会に向けて仲間づくりが進められています。

今、大会を成功に導くための気力・体力に自信のある人を青年会員として募集中で、「いつでも、誰でも気楽に参加してほしい」と一言。現在、青年会のメンバーは少ないながらも、若い力を結集し、大会成功に向けて今日も頑張る。

● 11月行事予定													
28	25	25	21	18	16	14	11	10	10	7	5	3~2	日
ワープロ教室 18:30 ~ 20:30 (中央公民館)	ワープロ教室 18:30 ~ 20:30 (中央公民館)	交通安全教室	ワープロ教室 18:30 ~ 20:30 (中央公民館)	ワープロ教室 18:30 ~ 20:30 (中央公民館)	全校たてわり交流会	ワープロ教室 18:30 ~ 20:30 (中央公民館)	献血日 9:00 ~ 16:00 (役場前)	小学校参観日	ワープロ教室 18:30 ~ 20:30 (中央公民館)	ワープロ教室 18:30 ~ 20:30 (中央公民館)	一歳半児・三歳児健診 13:00 ~ (中央公民館)	第11回蓬田村民祭(蓬田中学校体育館) (村農業者トレーニングセンター)	日
中央公民館	中央公民館	蓬田小学校	中央公民館	中央公民館	蓬田小学校	中央公民館	民生課	蓬田小学校	中央公民館	中央公民館	民生課	蓬田村民祭 実行委員会	担当



倉谷まゆみ(阿弥陀川出身)さんが「私の小さなアトリエ」という本を自費出版しました。この本の中には、倉谷さんが制作した「布絵」・「花」・「墨彩」・「油絵」・「水彩」等の作品が沢山掲載されています。定価3,000円で販売しておりますので、購入希望の方は倉谷弘孝(阿弥陀川)さんまでご連絡下さい。

みく
つけた
45

けっばる蓬田人 ③⑧

ふるさとを遠くへ

(株)アトリエDKESKA河野應思デザイン事務所
デザイナー 鎌田 久 則さん



蓬田村制一〇〇周年おめでとございます。村勢要覧を拝見し、確かに故郷の発展している息吹が至る所に現れていて嬉しく励まされる思いがします。今年初めて蓬田中学校同期会に出席する事が出来、二十七年目にして会う育んでくれた先生方、語りあった学友達、どの顔も誇りと自信に

満ち溢れていて歳月の隔たりを感じました。

しかし酒を酌み交わし話が弾むにつれ蓬田で過ごした頃が走馬燈のごとく廻り故郷があることの尊さを実感しました。思えば小・中学生の頃はこれといった才能があった訳でないのですが、美術関係の授業が得意だった様な気がします。その甲斐あってか、今ではディスプレイの仕事をしております。

最近変わった仕事として、日本政府(外務省文化一課)が発展途上国に対し、無償で行っている「文化無償案件」です。文化施設である博物館のイベント会場が出現し我々デザイナーの活躍場所が拡大している。これらを一過性のディスプレイに対し恒久的な物として、博物館・資料館等資料保存教育普及を目的とする展示デザインがあります。その他多くのディスプレイがあります。私の場合後述の文化施設を中心に活動しております。



の展示は不特定多数の人達へ差別なく還元出来るので援助の評価にも継っているようです。一昨年お釈迦様誕生のネ

パール国の首都カトマンズ市にあるチャウニ国立博物館(石像・木像・銅像)の保存展示を現地ローカルスタッフと共にこなして来ました。ネパールでは時・物の流れがすべて「ビスタレ・ビスタレ」(ゆっくり)ですが、移り変わり行く日本では、こだわり意識を常に持ちながらデザイン活動するよう心掛けたいと思っています。

戸籍の窓



人口と世帯数
(9月30日現在)

総人口 4,121人
男 1,980人
女 2,141人
世帯数 1,049世帯

9月受付分

お誕生おめでとうございます

中川	順南	(順久)	美子	長女
佐井	琴海	(徳厚)	清子	長女
砂田	大樹	(正昭)	則子	長男

ご結婚おめでとうございます

(木村 寿(瀬辺地)
今泉 やす子(十和田市))

おくやみ申し上げます

泉 勘太郎(中沢 74歳)
福井 ミエ(郷沢 80歳)

めも

▶現住所/埼玉県北葛飾郡庄和町米島962-91
☎048(746)1169 ▶生年月日/昭和24年6月19日
▶出身/広瀬/鎌田進氏長男▶家族構成▶/妻・真理子・長女・瞳▶好きなもの/ゴルフ/鮎釣
▶経歴/東京都立南葛飾高等学校普通科卒(昭和42年)東京デザイナー学院建築デザイン科卒(昭和45年)同校デザイン科助手、(株)現代設計(昭和46年~48年)(株)白水社(昭和49年~62年)(株)アトリエDKESKA河野應思デザイン事務所(平成元年~現在に至る)